

報道関係者各位

東日本大震災で被災した若者、児童養護施設を退所した若者の教育支援プロジェクト

## Canayell / カナエール

9 / 23 (祝日) イベントのチケット、ウェブでの予約販売いよいよ開始!

特定非営利活動法人ブリッジフォースマイルが独自に創設した、児童養護施設から社会に巣立つ若者たちと、サポートする大人たちをつなぐ、“顔が見える”、“心が通った”、これまでにない全く新しい支援スキーム、「夢を叶える力を育てる」ソーシャル・プラットフォーム、「Canayell / カナエール」プロジェクト。「資金」と「意欲」の両面から最長4年、継続的に教育支援を行います。また、東日本大震災で進学が経済的に困難となった被災地の若者の支援も同時に行います。この「Canayell / カナエール」プロジェクトによる、児童養護施設出身の若者たちが、将来の夢や未来に馳せる思い、希望をアピールする夢スピーチコンテストが9 / 23 (祝日) に開催されます。この日本で初めての画期的なプロジェクトに参加できるイベントのチケット予約販売が開始になりました。ここに詳細をご案内申し上げます。

【開催日時】 2011年9月23日 (金・祝日) 14:00-17:00

【開催場所】 パソナグループ本社ビル8階ホール (東京都千代田区大手町2-6-4)

【プログラム内容】

- \* 今年度奨学生に選ばれた児童養護施設退所者 (予定者) 10名によるスピーチ
- \* 同じく今年度奨学生に選ばれた被災した学生のビデオメッセージ発表会 (内容は、変更する可能性があります)

【イベント参加方法】

- 1 一般席 夢チケット (5,000円) をご購入ください。  
(100席 - \* 席数に限りがございますので、お早めにご予約ください。)
- 2 「奨学金継続寄付」でサポーターになってください。  
(1口2,000円を最低1年間寄付いただいた方には、1口につき夢チケット1枚をプレゼント)

チケットの予約、また 「奨学金継続者寄付」の申込はこちらのサイトから:

[http://www.canayell.com/your\\_support.html](http://www.canayell.com/your_support.html)

チケットの発送は8月中旬を予定しております。

---

1人のカナエルンジャー (児童養護施設退所者、スピーチコンテスト登壇者) に対して、3名のメンターボランティアがつき、9月23日のスピーチコンテストに向けて準備を行っています。夢に向かって走り始める10人のカナエルンジャーと30名のボランティアが初顔合わせをしたキックオフの合宿が6月25日&26日を開催されました。これを機に、Twitter上でも盛り上がっております。#canayell でぜひチェックしてみてください!

---

カナエール プロジェクトに関する取材/掲載のご協力、どうぞよろしくお願い申し上げます。

NPO法人ブリッジフォースマイル 広報担当: NPO法人ソーシャル コンシェルジュ 林 民子

TEL: 03-6438-9789 / E-Mail: info@socialconciierge.org

## 【カナエール プロジェクト概要】

様々な事情から家庭で暮らせず、児童養護施設で生活している子どもたちが、全国に3万人います。子どもたちは18歳で施設を退所し、ひとり立ちします。そんな施設退所者の大学等への進学率は2割。全国平均7割に比べて大きな格差があります。また、せっかく進学しても4割もの子どもが卒業できずに中退。全国平均の3倍にもなります。どんな環境で生まれ育っても、教育の機会は平等にある社会であってほしいという思いから、カナエールは生まれました。

### 問題解決の「2つの鍵」

- ◆ 奨学金：一人あたり、一時金30万円と、卒業まで月々3万円
- ◆ 体験機会：スピーチコンテストや3ヶ月間のトレーニングプログラムなど

大学等へ進学、卒業するには、「資金」と「意欲」が必要です。ただ奨学金を提供するだけではなく、施設退所者は、

アルバイトと学生ローン、わずかな奨学金で、学費と生活費の全てをまかなうため、とても忙しく、苦しい生活を強いられます。それ

に打ち勝つための強い意欲が、欠かせません。仲間に支えられ、自分と向き合いながら、高い目標を達成することは、大きな自信

につながります。また、卒業まで毎月送られる奨学金は、生活にゆとりを生むだけでなく、応援してくれる人たちの存在を感じること

ができます。カナエールは、「資金」と「意欲」の両面から、進学格差の問題解決を目指しています。

**支援内容：**進学・就学を希望する若者に2つの側面から支援

- 1 資金：一時金30万円、卒業まで毎月3万円の奨学金
- 2 意欲：ボランティアや支援者のコミュニティ、専門家によるサポート

**お願いしたいこと：**多くの方、企業に、継続的なサポートをお願いしております。

- 1 奨学金の月々寄付
- 2 支援対象者とのコミュニケーション

## 【カナエールが生まれたきっかけ一夢をかなえた、一人の女の子の物語】

看護師になりたかった夢をかなえ、笑顔で働く23歳のハルカ。彼女は実の親に育ててもらえず、18歳まで岩手県にある児童養護施設で生活していた。看護学校の学費や生活費の支払いが困難なハルカを支え続けたのは、彼女が育った児童養護施設の職員をはじめとする有志30人。「ハルカの夢をかなえる奨学金」として、看護学校を卒業するまでの3年間、彼女に送金を続けた。だから、今のハルカがいる。くじけそうになっても、毎月届く30人のエールに励まされてきた。「私一人じゃ、かなえられなかった。今度は私が後輩を応援する番」これは、30人の大人たちが、子どもの夢見る力を支えて、育て、次の子どもにも夢のバトンが渡されようとしている、とても素敵な物語。

私たちは、彼女の実話をヒントに、「挑戦する子どもたち×応援する大人たち」の「想いをつなぐプラットフォーム」を、本気で創ることにしました。それが「カナエール」

挑戦できるという希望を、すべての子どもたちへ。夢がかなう連鎖の社会が生まれます。